



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	67,429	7.0	1,424	676.9	1,494	178.5	897	
2022年3月期第3四半期	63,004	3.2	183	25.2	536	16.8	11	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,414百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 4百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	14.91	
2022年3月期第3四半期	0.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	81,433	39,182	47.8
2022年3月期	79,982	38,285	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 38,908百万円 2022年3月期 38,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,500	6.8	2,450	179.0	2,600	108.9	1,600	122.2	26.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	66,829,249 株	2022年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	6,642,988 株	2022年3月期	6,494,889 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	60,201,179 株	2022年3月期3Q	61,186,967 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化に向けた動きが活発となり個人消費の持ち直しが見られたものの、地政学リスクの高まりによるサプライチェーンの混乱や物価上昇によるインフレ懸念など、先行き不透明な経営環境が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、非住宅投資で回復の動きが続くものの、資材価格の高止まりによる建設コストの増加により、民間住宅需要の減少が続いております。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン〈TOLI VISION 2030〉の実現に向けた中期経営計画『SHINKA Plus ONE』において、A.コア事業の強靱化、B.伸びしろ事業の成長拡大、C.第5事業の創造、D.グループ横断機能の強化、E.成長を支える経営基盤の構築、の5つの重点戦略を推進しております。当期においては、昨年来の数次にわたる原材料コストの上昇に対応すべく、タイルカーペット用ナイロン原糸の内製化やリサイクル原材料使用比率の向上をはじめとした製造原価低減に注力すると共に、5月の第2次、9月には第3次となる販売価格改定の浸透を図り、収益改善に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結結果計期間における連結業績は、売上高67,429百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益1,424百万円(前年同期比676.9%増)、経常利益1,494百万円(前年同期比178.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益897百万円(前年同期 同四半期純損失11百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、今年度発売の新商品を中心とした販促活動と販売価格改定に注力したことにより売上高は伸長しました。利益面では、様々な製造原価低減への取り組みに努めたことに加え、5月以降の販売価格改定による効果が寄与しましたが、原材料価格の高止まりが続く中、後追いの価格転嫁による収益改善は一定程度にとどまりました。

ビニル系床材では、7月に発売したビニル床タイル「タイルコレクション」が好調に推移し、主力商品の「ロイヤルシリーズ」及び当社独自の技術を活かした単層ビニル床タイル「LCT(Luxury Calcium carbonate Tile)」・「VCT(Vinyl Composition Tile)」シリーズが伸長しました。また、4月に発売した新・第3の床材「タフテックタイル」は、複層ビニル床タイルの進化が評価され2022年度グッドデザイン賞を受賞するなど、ビニル系床材は好調に推移しました。

カーペットでは、6月に発売した「TOLI完全循環型リサイクルシステム」による環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サステイナブルバック」を中心に、環境対応ニーズの高まるオフィス市場への販促活動に注力いたしました。新築・リニューアルを含めたタイルカーペット全体の販売数量は弱含みで推移しましたが、販売価格改定効果により売上高は前年を上回りました。

壁装材では、7月発売の汎用タイプビニル壁紙「VS」が好調に推移したことに加え、10月発売の素材の表現を追求した不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」の販促活動に注力したことにより壁装材は好調に推移しました。また、販売価格改定の浸透が進んだことにより、売上高は前年を大きく上回る結果となりました。カーテンでは、10月発売の各種施設向け「コントラクトカーテン」において、回復基調の医療福祉市場を中心とした販促活動に注力したことにより好調な滑り出しとなりましたが、カーテン全体の売上高は前年を下回る結果となりました。

これらの結果、プロダクト事業では、売上高は40,991百万円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は880百万円(前年同期比275.9%増)となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸及び工事事業では、インテリア関連商材の仕入れコストの上昇が続く中、販売価格への転嫁に加え、地域に密着したきめ細かいサービスの向上に努めたことにより、事業全体は順調に推移しました。また、東璃(上海)貿易有限公司では、中国国内のゼロコロナ政策による行動制限の影響により売上高は伸び悩みましたが、同社の第3四半期累計期間(2022年1月～9月)の業績は底堅く推移しております。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は44,375百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益は814百万円(前年同期比69.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資 産>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ552百万円増加し、47,392百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ897百万円増加し、34,040百万円となりました。これは主に、製造子会社の設備投資に伴う建設仮勘定の増加によるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,450百万円増加し、81,433百万円となりました。

<負 債>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ515百万円増加し、29,869百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、12,381百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ553百万円増加し、42,251百万円となりました。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ896百万円増加し、39,182百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきまして、直近の経営環境を踏まえた業績等を勘案し、2022年10月24日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2023年2月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,341	8,621
受取手形及び売掛金	18,899	17,275
電子記録債権	5,505	6,588
商品及び製品	7,722	9,515
仕掛品	1,328	2,102
原材料及び貯蔵品	1,800	2,136
その他	1,280	1,189
貸倒引当金	△38	△36
流動資産合計	46,839	47,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,296	7,123
機械装置及び運搬具(純額)	3,607	3,281
工具、器具及び備品(純額)	361	494
土地	8,371	8,343
建設仮勘定	2,382	3,660
その他(純額)	97	108
有形固定資産合計	22,116	23,012
無形固定資産		
ソフトウェア	821	759
その他	167	134
無形固定資産合計	989	894
投資その他の資産		
投資有価証券	4,705	5,020
繰延税金資産	959	724
その他	4,839	4,878
貸倒引当金	△467	△489
投資その他の資産合計	10,036	10,133
固定資産合計	33,142	34,040
資産合計	79,982	81,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,583	17,846
電子記録債務	5,493	6,135
短期借入金	920	1,020
未払法人税等	382	291
未払費用	1,644	1,671
賞与引当金	651	179
その他	2,677	2,724
流動負債合計	29,353	29,869
固定負債		
長期借入金	5,780	5,680
退職給付に係る負債	3,820	3,948
訴訟損失引当金	76	—
その他	2,666	2,752
固定負債合計	12,343	12,381
負債合計	41,697	42,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	24,231	24,646
自己株式	△1,467	△1,500
株主資本合計	36,045	36,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	1,925
為替換算調整勘定	176	474
退職給付に係る調整累計額	88	80
その他の包括利益累計額合計	1,968	2,480
非支配株主持分	271	274
純資産合計	38,285	39,182
負債純資産合計	79,982	81,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	63,004	67,429
売上原価	45,647	48,434
売上総利益	17,356	18,994
販売費及び一般管理費	17,173	17,570
営業利益	183	1,424
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	154	177
仕入割引	56	56
その他	249	153
営業外収益合計	462	389
営業外費用		
支払利息	46	47
持分法による投資損失	34	247
その他	28	23
営業外費用合計	109	318
経常利益	536	1,494
特別利益		
固定資産売却益	81	29
投資有価証券売却益	48	15
特別利益合計	129	45
特別損失		
固定資産除却損	13	12
固定資産売却損	—	8
減損損失	478	—
投資有価証券評価損	2	—
訴訟損失引当金繰入額	72	—
特別損失合計	567	21
税金等調整前四半期純利益	99	1,518
法人税、住民税及び事業税	197	471
法人税等調整額	△108	145
法人税等合計	88	617
四半期純利益	10	901
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	897

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10	901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	222
為替換算調整勘定	98	298
退職給付に係る調整額	2	△7
その他の包括利益合計	△15	512
四半期包括利益	△4	1,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26	1,410
非支配株主に係る四半期包括利益	21	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,219	41,785	63,004	—	63,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,213	165	16,378	△16,378	—
計	37,432	41,950	79,382	△16,378	63,004
セグメント利益	234	481	716	△179	536

(注)1 セグメント利益の調整額△179百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,267	44,162	67,429	—	67,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,724	213	17,937	△17,937	—
計	40,991	44,375	85,366	△17,937	67,429
セグメント利益	880	814	1,695	△200	1,494

(注)1 セグメント利益の調整額△200百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。